

ハローワークの求職情報の提供に係る費用について

いずれも、金額については【P】：アクセス見込み量などの要件により変動する。

1 一時経費

①システム改修経費 約 10 億円

②ハードウェア導入経費 約 2 億円(注)

(注)本機能のためにサーバ等を新規に導入する場合。

実際には、ハローワークシステムの見直しにより削減するサーバの転用又は既存のサーバへの同居の方向で検討しており、当該経費は1億円程度(アプリケーション導入作業費用等)となる見込み。

2 ランニングコスト

①ハードウェア借料・保守 約 1億円/年(注)

②ソフトウェア借料・保守 約 1億円/年(注)

(注)本機能のためにサーバ等を新規に導入する場合。

実際には、ハローワークシステムの見直しにより削減するサーバの転用又は既存のサーバへの同居の方向で検討しており、①については新規に発生しない(既存の経費で対応)見込み。②については、一部不足するミドルウェア分として約 0.5 億円/年となる見込み。

③保守運用経費 約 1億円/年

※ 現在、ハローワークシステムについて見直し検討を進めているところであり、その中で、ハローワークシステムのサーバについては、現行の利用状況等を踏まえた削減を検討中。求人情報のオンライン提供及び求職情報の提供に係るシステム構築については、削減することとなるサーバを転用することを検討。